



# 目 次

1. 東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻の概要	1
2. 修了要件及び履修登録について	4
3. 授業科目	
(1) 必修科目	
・ 歯科矯正学総論 (3206721)	8
・ 歯科矯正学基礎 (3206722)	9
・ 基礎歯科矯正学セミナー (3206751)	11
・ 論文・博士論文セミナー (3206894)	12
・ 歯科矯正学技法 (3206723)	13
・ 包括的治療手順 (3206724)	14
・ 上級歯科矯正学セミナー (3206752)	16
・ 矯正演習 (3206741)	17
・ 矯正臨床トレーニング 1 (3206941)	18
・ 矯正臨床トレーニング 2 (3206942)	19
・ 矯正臨床トレーニング 3 (3206943)	20
・ 上級矯正臨床トレーニング 1 (3206944)	21
・ 上級矯正臨床トレーニング 2 (3206945)	22
・ 上級矯正臨床トレーニング 3 (3206949)	23
(2) 選択科目	
・ 歯科用写真と歯科矯正学におけるコンピューター (3206779)	24
・ 歯科矯正学教育実習 (3206965)	25
・ 歯学研究提案書作成 (3200761)	26
・ 歯学研究報告書作成 (3200762)	27
・ 骨生物学 (3200749)	28
(3) 専門科目	
咬合機能矯正学	
・ 咬合機能矯正学特論 (1001)	33
・ 咬合機能矯正学研究実習 (1002)	35
・ 咬合機能矯正学実験・論文作成 (1003)	37
顎顔面矯正学	
・ 顎顔面矯正学特論 (1101)	39
・ 顎顔面矯正学研究実習 (1102)	41
・ 顎顔面矯正学実験・論文作成 (1103)	43
4. 学生周知事項	45
5. 学内主要施設	50
6. 校内案内図	51













































































# 咬合機能矯正学研究実習

## Orthodontic Science Research Practice

演習（科目コード：1002 2年次通年 8単位）

### 1. 担当教員

教授 小野 卓史 講師 松本 芳郎 簡野 瑞誠 細道 純  
助教 島崎 一夫 渡 一平 小海 暁 米満 郁男 石田 宝義 石田 雄之

### 2. 主な講義場所

事前に指導教員にお問い合わせください。

### 3. 授業目的、概要等

（目的）咬合機能矯正学研究実習の目的とするところは、歯・歯周組織・顎骨およびこれらに付随する諸構造からなる咬合系が、小児期から老年期にわたり健全な形態を保持し生理的な機能を維持することができるよう、それを育成もしくは改善し、さらに維持する矯正歯科臨床の問題点を解決し、進歩・発展させるために必要な基礎医学を実践的に習得することにある。本授業科目は、咬合機能矯正学に関連した基礎的研究の方法を習得する方法を教授する。また、臨床領域であることから、咬合機能矯正学および歯科矯正学の基礎ならびに臨床に関する知識と臨床技術を兼ね備えた高度な矯正歯科医の育成を目的としている。

（概要）上記の目的に適うよう、研究実習であることを踏まえて下記の項目に分けて、各学年の教育グループにおいて総合的に教授する。

1. 咬合に関連する歯・歯周組織・咬合・顎関節・顎顔面頭蓋の硬軟組織の形態並びに咀嚼・嚥下・発音・呼吸をはじめとした顎口腔機能ならびに記憶・学習・認知・行動等の脳機能について解説し、咬合育成や改善に対する科学的根拠の理解を深めさせる。
2. 咬合力や矯正力等の外力に対する咬合系の反応性と適応性について、また、増齢に伴うそれらの変化についても解説し、生物現象への関心を高める。
3. 歯科矯正治療を主とする咬合系の形態や機能を制御する術式について、生力学的ならびに生体材料学的に解説し、術式開発への意識向上を図る。
4. 咬合機能制御に対する歯科医が考える必要度と一般人が考える要求度について解説し、社会歯科学並びに研究倫理の認識を高める。

### 4. 授業の到達目標

- 1) 咬合機能矯正学の基礎医学的实践に関連する適切かつ十分な学識と思考能力を獲得し、各自の基礎医学的研究テーマを論理的に実践する能力をおよび知識を修得する。
- 2) 矯正歯科医療に関し、適切かつ十分な学識と経験を得ることにより高度専門医療人たるに十分な知識と臨床経験を積む。

### 5. 授業方法

少人数制とする。

### 6. 授業内容

咬合機能矯正学の基礎医学的实践に関連する研究実習を通して、各自の研究テーマおよび臨床に必要な基礎医学的知識および思考力の獲得を目指す。教育グループでの講義により最先端の知識を身につけ、検討会での発表、質問を通して論理的思考能力とそれに基づく議論展開を身につける。

### 7. 成績評価の方法

各学年の教育グループの研究実習への取組み状況や、発表・発言等の内容等を判断して評価する。加えて、研究内容、各種研究や研究会議への関与の程度、学会発表の回数等に基づいて総合的な評価を行う。

### 8. 準備学習等についての具体的な指示

事前に参考書・論文等の指示があった場合は予習しておくこと

## 9. 参考書

Contemporary Orthodontics 5th edition, Proffit WR, Elsevier Mosby, 2013, ISBN: 9780323083171  
咬合機能矯正学研究、歯科矯正臨床に関する参考書・論文については多岐にわたるため、その都度指示する。

## 10. 履修上の注意事項

止むを得ず欠席する場合は事前に申し出ること

## 11. 英語による授業の対応可否 (Availability in English)

可

## 12. オフィスアワー

問合せ先 咬合機能矯正学分野 小野 卓史 月・水 16:00-17:00 E-mail t.ono.orts@tmd.ac.jp

## 13. 備考

特になし

# 咬合機能矯正学実験・論文作成

## Orthodontic Science Experimentation and Thesis Writing

実験・実習（科目コード：1003 2～5年次後期 10単位）

### 1. 担当教員

教授 小野 卓史 講師 松本 芳郎 簡野 瑞誠 細道 純  
助教 島崎 一夫 渡 一平 小海 暁 米満 郁男 石田 宝義 石田 雄之

### 2. 主な講義場所

事前に指導教員にお問い合わせください。

### 3. 授業目的、概要等

（目的）咬合機能矯正学の目的とするところは、歯、歯周組織、顎骨、顎関節およびこれらに付随する諸構造からなる咬合系が、小児期から老年期にわたり健全な形態を保持し生理的な機能を維持することができるよう、それを育成もしくは改善し、さらに維持することにある。本授業科目は、咬合機能矯正学に関連した基礎的・臨床的研究の方法を習得するとともに研究計画を立案し実践し、その結果を研究論文としてまとめて、公表するための方法を教授する。また、臨床領域であることから、咬合機能矯正学および歯科矯正学の基礎ならびに臨床に関する知識と臨床技術を兼ね備えた高度な矯正歯科医の育成を目的としている。

（概要）上記の目的に適うよう、研究実習であることを踏まえて下記の各研究グループに配属して個別に教授する。

1. 歯・歯周組織・咬合・顎関節・顎顔面頭蓋の硬軟組織の形態並びに機能に関する生化学・組織細胞化学・分子生物学・機能解剖学的研究
2. 咀嚼・嚥下・発音・呼吸をはじめとした顎口腔機能ならびに記憶・学習・認知・行動等の脳機能に関する基礎生理学・臨床生理学・放射線医学的研究
3. 矯正歯科臨床に関する無機金属材料学・生体有機材料学・材料生力学的研究

### 4. 授業の到達目標

- 1) 咬合機能矯正学の基礎医学的研究に関連する実験・論文作成のための適切かつ十分な学識と思考能力を獲得し、各自の研究テーマに沿って研究を論理的に立案・推進する能力および知識を身につける。
- 2) 研究結果を適切に処理・解析し渉猟される先行研究と比較分析し、学術論文としてまとめ公表する能力を修得する。

### 5. 授業方法

少人数制とする。

### 6. 授業内容

咬合機能矯正学に関連する実験・論文作成を通して、各自の研究テーマおよび臨床研究に必要な知識および思考力の獲得を目指す。各研究グループのプログレスミーティングにより最先端の知識を身につけ、ミーティングでの発表、質問を通して論理的思考能力とそれに基づく議論展開を身につける。

### 7. 成績評価の方法

各研究グループのプログレスミーティング、実験への取組み状況や、発表・発言等の内容等を判断して評価する。加えて、研究内容、各種研究や研究会議への関与の程度、学会発表の回数等に基づいて総合的な評価を行う。

### 8. 準備学習等についての具体的な指示

事前に参考書・論文等の指示があった場合は予習しておくこと

### 9. 参考書

Contemporary Orthodontics 5th edition, Proffit WR, Elsevier Mosby, 2013, ISBN: 9780323083171  
咬合機能矯正学研究、歯科矯正臨床に関する参考書・論文については多岐にわたるため、その都度指示する。

**10. 履修上の注意事項**

止むを得ず欠席する場合は事前に申し出ること

**11. 英語による授業の対応可否 (Availability in English)**

可

**12. オフィスアワー**

問合せ先 咬合機能矯正学分野 小野 卓史 月・水 16:00-17:00 E-mail t.ono.orts@tmd.ac.jp

**13. 備考**

特になし



# 顎顔面矯正学特論

## Maxillofacial Orthognathics Special Lecture

講義（科目コード：1101 2年次前期 6単位）

### 1. 担当教員

教授 森山 啓司 准教授 鈴木 聖一 講師 小川 卓也  
助教 辻 美千子 東堀 紀尚 宮本 順 小林 起穂 伊藤 洋介  
特任助教 Issareeya Ekprachayakoon

### 2. 主な講義場所

受講前に担当教員に確認すること。

### 3. 授業目的、概要等

（目的）出生前後の成長発育異常によって惹起される顎顔面頭蓋領域の形態・機能異常について臨床歯学的立場から理解を深め、最新の診断・治療法や予防法について修得する。また、先天異常ならびに顎変形症を伴う患者に対する各種検査法ならびに分析法を習得し、治験例を参考に診断、治療計画の立案について学ぶ。さらに矯正装置の作製法を習得するとともに、シミュレーションモデルを用いてその作用機序について理解を深める。

（概要）

1. 歯、歯周組織、顎顔面頭蓋およびこれに付随する筋軟組織系の正常な成長発育とその機能について理解する。
2. 顎顔面矯正学に関連した矯正歯科臨床症例の問診・検査・分析データから、診断に必要なデータベースの作成法を習得する。
3. 矯正歯科臨床症例に対して顎顔面矯正学的観点から問題点を抽出し、診断ならびに治療目標の設定法を理解する。
4. 諸構造の不正により生じた咬合異常、形態異常等の改善のため、治療目標に沿った治療計画の立案について理解する。
5. 個々の臨床症例の治療経過を通じて、一般的な歯科矯正治療に加えて外科的治療や補綴治療等との連携による包括的治療法を理解する。

### 4. 授業の到達目標

口腔顎顔面頭蓋における骨格系、筋軟組織系の先天異常、成長発育異常を引き起こすメカニズム、ならびにその診断、治療法を説明できることを目標とする。

### 5. 授業方法

少人数制で行う。

### 6. 授業内容

出生前および出生後の成長発育異常によって惹起される顎顔面頭蓋領域における形態異常について、臨床歯学的立場から理解することを目的とする。また、各種先天性疾患における遺伝学のおよび形態発生の背景を解説し、その診断、治療法についても最新の情報を提供する。

### 7. 成績評価の方法

講義への取組み状況、研究の内容および研究への取組み状況に基づいて総合的に評価を行う。

### 8. 準備学習等についての具体的な指示

授業、演習、研究実習に先立って、担当教員と連絡をとり、講義内容を確認し、参考書等により必要な知識を予め習得しておく。

## 9. 参考書

Contemporary Orthodontics 5th Ed., W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Orthodontics Current Principles & Techniques 4th Ed., T.M.Grabner 他著, ELSEVIER/MOSBY ・ Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity, W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Gorlin's Syndrome of the Head and Neck, 5th Ed., Hennekam/Krantz/Allanson 共著, Oxford University ・ Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects, T.Kuroda 他著, Needham Press ・ アトラス顎顔面矯正-顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療- 黒田 敬之監修、医歯薬出版

## 10. 履修上の注意事項

特になし

### 11. 英語による授業の対応可否 (availability in English)

可

### 12. オフィスアワー

問合せ先 顎顔面矯正学分野 森山 啓司 E-mail k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

### 13. 備考

特になし

# 顎顔面矯正学研究実習

## Maxillofacial Orthognathics Research Practice

演習（科目コード：1102 2年次通年 8単位）

### 1. 担当教員

教授 森山 啓司 准教授 鈴木 聖一 講師 小川 卓也  
助教 辻 美千子 東堀 紀尚 宮本 順 小林 起穂 伊藤 洋介  
特任助教 Issareeya Ekprachayakoon

### 2. 主な講義場所

受講前に担当教員に確認すること。

### 3. 授業目的、概要等

（目的）歯、歯周組織、顎顔面頭蓋およびこれに付随する筋軟組織系の正常な成長発育とその機能、併せてそれら諸構造の異常により生じた病態の顎顔面矯正学的治療ならびに予防について理解する。また、出生前後の成長発育異常によって惹起される顎顔面頭蓋領域の形態・機能異常の原因、診断、治療、予防に関連した研究手法について習得する。さらに、各種先天異常ならびに顎変形症の発症に関与する因子およびその機序を明らかにし、治療法、防法の開発のための具体的研究手法について理解を深めることを目的とする。

（概要）

1. 関連文献の収集と分析方法
2. 倫理指針に基づく適切な実験計画の立案
3. バイオリソースや実験動物の適切な取り扱い方法
4. 分子遺伝学、分子生物学的、組織学的、生体材料工学的研究手法と関連研究機器の取り扱い方法
5. 臨床研究、疫学研究の手法

### 4. 授業の到達目標

口腔顎顔面頭蓋における骨格系、筋軟組織系の先天異常、成長発育異常を引き起こすメカニズム、ならびにその診断、治療法に関する研究計画の立案と実験手法を説明できることを目標とする。

### 5. 授業方法

少人数制で行う。

### 6. 授業内容

先天異常ならびに顎変形症患者の治療には矯正、外科、補綴など歯科各科の連携による治療が必要となるため、的確な診断と治療計画の立案が極めて重要となる。演習では、先天異常ならびに顎変形症を伴う患者に対する各種検査法、分析法、診断、治療計画立案に関連した研究の基礎的手法について学ぶ。

### 7. 成績評価の方法

研究実習への取り組み状況、研究の内容および研究への取り組み状況に基づいて総合的に評価を行う。

### 8. 準備学習等についての具体的な指示

授業、演習、研究実習に先立って、担当教員と連絡をとり、講義内容を確認し、参考書等により必要な知識を予め習得しておく。

## 9. 参考書

Contemporary Orthodontics 5th Ed., W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Orthodontics Current Principles & Techniques 4th Ed., T.M.Grabner 他著, ELSEVIER/MOSBY ・ Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity, W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Gorlin's Syndrome of the Head and Neck, 5th Ed., Hennekam/Krantz/Allanson 共著, Oxford University ・ Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects, T.Kuroda 他著, Needham Press ・ アトラス顎顔面矯正-顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療- 黒田敬之監修、医歯薬出版

## 10. 履修上の注意事項

特になし

## 11. 英語による授業の対応可否 (availability in English)

可

## 12. オフィスアワー

問合せ先 顎顔面矯正学分野 森山 啓司 E-mail k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

## 13. 備考

特になし

# 顎顔面矯正学実験・論文作成

Maxillofacial Orthognathics Experimentation and Thesis Writing

実験・実習（科目コード：1103 2～5年次後期 10単位）

## 1. 担当教員

教授 森山 啓司 准教授 鈴木 聖一 講師 小川 卓也  
助教 辻 美千子 東堀 紀尚 宮本 順 小林 起穂 伊藤 洋介  
特任助教 Issareeya Ekprachayakoon

## 2. 主な講義場所

受講前に担当教員に確認すること。

## 3. 授業目的、概要等

（目的） 歯、歯周組織、顎顔面頭蓋およびこれに付随する筋軟組織系の正常な成長発育とその機能と併せて、これら諸構造の不正により生じた咬合異常、形態異常等の改善ならびにそれらの発生予防に関連した研究課題を設定する。さらに実験仮説を立て、科学的手法に基づいた実験的検証を行い、得られた結果に対して考察を加え論文を完成させる。

（概要） 下記の研究グループのいずれかに所属し、個別の課題について実験・論文作成を行う。

- 1) 臨床評価/医療検証グループ：先天異常ならびに顎変形症を伴う患者の検査、分析、診断、治療データをもとに臨床研究を行う。
- 2) 臨床インフォマティクスグループ：臨床統計学的手法を用いて顎顔面矯正学の客観的エビデンスを蓄積し、今後の歯科医療の発展に寄与する基礎データを構築する。
- 3) バイオマーカー探索グループ：各種先天異常ならびに顎変形症の成立に関与する因子および発症機序を明らかにするため、分子遺伝学的手法や分子生物学的手法を用いた原因遺伝子の探索や病態発生機序について解析を行う。
- 4) 顎口腔機能センシング：先天異常患者や顎変形症患者の顎口腔機能の特異性を明らかにするとともに、高次中枢との関連性を探る。
- 5) 新規デバイス/イメージング技術開発：各種画像情報を用いて治療シミュレーションや顎口腔機能の評価を行うためのデバイス開発を行う。

## 4. 授業の到達目標

口腔顎顔面頭蓋における骨格系、筋軟組織系の先天異常、成長発育異常を引き起こすメカニズム、ならびにその診断、治療法を説明できることを目標とする。

## 5. 授業方法

少人数制で行う。

## 6. 授業内容

各種先天異常ならびに顎変形症の成立に関与する因子および発症機序を明らかにし、新しい治療法や予防法に関する研究を遂行する。また研究倫理指針に沿って研究データの管理について理解を深め、科学論文の作成方法についての実践的指導を行う。

## 7. 成績評価の方法

実験への取組み状況、研究の内容および研究への取組み状況に基づいて総合的に評価を行う。

## 8. 準備学習等についての具体的な指示

授業、演習、研究実習に先立って、担当教員と連絡をとり、講義内容を確認し、参考書等により必要な知識を予め習得しておく。

## 9. 参考書

Contemporary Orthodontics 5th Ed., W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Orhodontics Current Principles & Techniques 4th Ed., T.M.Grabner 他著, ELSEVER/MOSBY ・ Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity, W.R.Proffit 他著, MOSBY ・ Gorlin's Syndrome of the Head and Neck, 5th Ed., Hennekam/Krantz/Allanson 共著, Oxford University ・ Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects, T.Kuroda 他著, Needham Press ・ アトラス顎顔面矯正-顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療- 黒田敬之監修、医歯薬出版

## 10. 履修上の注意事項

特になし

## 11. 英語による授業の対応可否 (availability in English)

可

## 12. オフィスアワー

問合せ先 顎顔面矯正学分野 森山 啓司 E-mail k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

## 13. 備考

特になし

## 4. 学生周知事項

### 1) 連絡・通知

大学からの連絡・通知は掲示板への掲示又は大学のホームページ（トップページ → 「在学生の方」又は「学部・大学院」）により行います。

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講・試験の延長を決定した場合は、本学のホームページ（トップページ → 「学部・大学院」ニュース欄）に掲載します。

掲示板は 6 号館前大学院掲示板、1 号館西 1 階学務企画課前及び 5 号館 3 階学生支援事務室前です。見落としがないように十分注意して下さい。

学生への個別連絡は電話、電子メール又は郵送にて行います。

大学から緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないことがないように入学時と連絡先が変更になった際は、忘れずに届出てください。

### 2) 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明し、学内で名札として使用するとともに、IC カードとして学内出入口の解錠、出席登録等としても在学中使用しますので、紛失・破損等のないよう大切に取り扱いして下さい。

また、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

#### (1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。また、再交付を行う場合は、再交付にかかる費用を負担することとなりますので注意して下さい。

#### (2) 返却

修了、退学、除籍となった場合は、直ちに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却ができない場合は、再交付にかかる費用と同額を負担することとなりますので注意して下さい。

#### (3) 有効期限の更新

在学期間延長や長期履修により有効期間が経過した場合は、学生証の有効期限の更新が必要となりますので、学務企画課（TEL 5803-5074）に申し出てください。

### 3) 証明書等

証明書等は、学務企画課で発行するものと、自動発行機で発行するものがあります。

発行場所	種類	受付時間	問い合わせ先
自動発行機 5号館4階 学生談話室	在学証明書（和文）	8:30-21:00 (発行には 学生証が必 要)	学務企画課企画 調査係 TEL: 5803-5074
	学生旅客運賃割引証（学割）		
学務企画課※ 1号館西1階	在学証明書（英文）	8:30-17:15	学務企画課大学 院教務第一係・ 第二係 TEL: 5803- 4676・4534
	成績証明書（和文・英文）		
	修了見込証明書【修士・博士（前期）】 （和文・英文）		
	その他諸証明書（和文・英文）		
学務企画課※ 1号館西1階	修了見込証明書【博士・博士（後期）】 （和文・英文）	8:30-17:15	学務企画課企画 調査係 TEL: 5803-5074

#### ※学務企画課発行の証明書の手続きについて

学務企画課発行の証明書を希望する場合は、「証明書交付願」を各窓口へ提出して請求すること。なお、交付には和文で数日、英文で一週間程度を要する。

※修了生の証明書発行は、学務企画課で行っている。（発行している証明書：「修了証明書」「成績証明書」「単位修得証明書」「在学期間証明書」「学位授与証明書」等。）

#### 郵送での申込みについて

自動発行機以外で発行している証明書に関しては、郵送で申込みすることができる。その際は、「証明書交付願」と返信用封筒（角型2号）に120円切手貼付のうえ、請求すること。なお、郵送料が不足する場合は、郵便局からの請求に基づき支払うこと。

#### 申込み先

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45  
東京医科歯科大学 学務企画課

### 4) 学生旅客運賃割引証（学割証）

(1) 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用して下さい。（年間使用限度：10枚／人、有効期間：発行日から3ヶ月間）

(2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。



- ①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
- ②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき
- ③使用有効期間を経過したものを使用したとき

(3) 学割証は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：平日 8:30～21:00）

（問い合わせ先）学務企画課（TEL 5803-5074）

## 5) 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む）に変更が生じた場合は、速やかに学務企画課大学院教務第一係・第二係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要性が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

提出・問い合わせ窓口

学務部学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

届出用紙

	届出用紙	添付、提示書類
改姓した場合	改姓（名）届 学生証記載事項変更	改姓（名）を証明する書類を添付
本人・保証人が住所・本籍地を変更した場合	住所・本籍地変更届	住所・本籍地を変更したことを証明する書類を添付
保証人を変更した場合	保証人変更届	なし

## 6) 研修・実習依頼

外部の研究機関等に研修・実習を希望する場合は、依頼希望日の2週間前まで（外国の場合には2ヶ月前まで）に学務企画課大学院教務第一係・第二係へ外部研修・実習届出書を提出してください。

## 7) 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

- (1) 医学部内・・・・・・・・・・医学部総務課（3号館6階：TEL 5803-5096）
- (2) 歯学部内・・・・・・・・・・歯学部総務課（歯科棟南2階：TEL 5803-5406）
- (3) その他・・・・・・・・・・紛失及び拾得場所（建物）を管理する各事務部

## 8) 健康相談・メンタルヘルス相談

（保健管理センター：TEL 5803 - 5081、<http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html>）

保健管理センターは本学の学生・職員が心身共に健康な生活を送り、所期の目的を達成することができるよう、助言・助力することを目的としている施設です。必要に応じて医療機関への紹介状の発行も行っています。

### (1) 健康相談・メンタルヘルス相談

- ① 健康相談は午前10時～12時30分、午後1時30分～3時30分に受け付けます。
- ② 医師の担当時間は、保健管理センターホームページで確認してください。
- ③ 時間外でも医師・保健師がいる場合は相談に応じます。
- ④ センターには自分で測定できる身長計、体重計、血圧計などが設置してあります。

### (2) 健康診断

健康管理は自己責任ですので、詳しい日程・検査の種類等は保健管理センターホームページを確認してください。定期健康診断は学生の義務です。必ず受けてください。

- ①一般定期健康診断 5月
- ②B型肝炎抗原抗体検査 4月
- ③放射線業務従事者健康診断 4月、10月
- ④その他 B型肝炎の予防接種、インフルエンザの予防接種等

### (3) 健康診断証明書の発行

各種資格試験受験、病院研修申請、就職・進学などを目的として必要な健康診断証明書を発行しています。ただし、証明書発行は定期健診を受診している方に限ります。

## 9) 学生相談

（学生・女性支援センター：<http://www.tmd.ac.jp/labs/gakuseihokenkikou/index.html>）

学生・女性支援センターは、本学の学生に対して、生活・修学・就職・メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、全学的に支援を行い、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。なお、本センターは男女問わずご利用いただけます。

下記のような問題、その他大学生活を送るうえで悩みや心配事が起きたときにご相談ください。また、内容により担当が異なりますので、各ホームページをご参照ください。

<学生生活全般に関する事> TEL : 5803-4959

([http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/stdc/cms\\_reserv.cgi](http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/stdc/cms_reserv.cgi))

- ・生活に関する相談・・・家族の問題・経済的な問題・恋愛問題など
- ・修学に関する相談・・・勉強の進捗状況・進学・研究室の人間関係など
- ・就職に関する相談・・・卒業後の進路・就職活動など
- ・メンタルに関する相談・・・健康の問題・ストレス・心の問題・対人関係など
- ・ハラスメントに関する相談・・・アカデミックハラスメント・パワーハラスメント・セクシャルハラスメントなど

<キャリア支援や学業（仕事）と家庭との両立支援に関する事> TEL : 5803-4921

(<http://www.tmd.ac.jp/ang/counsel/index.html>)

- ・今後の進路や生き方に関する相談
- ・妊娠・出産・育児との両立や保育園入園・介護に関する相談

☆個別相談時間：月～金 10:30～17:00

ご予約下さい。予約なしでも可能な限り対応します。

## 10) 院生ラウンジ

院生は M&D タワー22 階院生ラウンジ 1、14 階院生ラウンジ 2 をそれぞれ利用することができます。

<利用時間> 8 : 00～21 : 00

- <注意事項>
- ①利用後は整理整頓を行い、必ず原状復帰すること。
  - ②ゴミは各自の研究室に持ち帰り、責任を持って処分すること。同フロアに設置されている他の教室のゴミ箱に捨てないこと。
  - ③他の利用者に迷惑となる行為（大声で話す、長時間の睡眠をとる、遊具を持ち込む等）をしないこと。
  - ④私物を放置したままにしないこと。

## 11) その他

- (1) 個人宛の郵便物等には、必ず分野名の記載を相手方に周知してください。
- (2) 本学では、構内での交通規制が行われており、学生の車での通学は認められていませんので、注意して下さい。ただし、電車、バス等で通学することが困難な者については、申請に基づき許可することがあります。
- (3) 担当課
  - ① 教務事務・・・学務企画課大学院教務第一係・第二係  
(1号館西1階：TEL 5803-4676、4679、4534)
  - ② 授業料の納入・・・財務企画課収入管理係  
(1号館西3階：TEL 5803-5048)
  - ③ 奨学金・授業料免除・・・学生支援事務室  
(5号館3階：TEL 5803-5077)

## 5. 学内主要施設

施設名	所在地	内線番号
国際交流課	1号館西4階	4076
学生支援課	5号館3階	5077
学務企画課	1号館西1階	5074（企画調査係） 4676,4679,4534（大学院教務） 4678（JD係）
入試課	1号館西1階	4924
財務施設部財務企画課収入管理係	1号館西3階	5042
図書館	M&Dタワー3階	5592
保健管理センター	5号館2階	5081
談話室（証明書自動発行機）	5号館4階	—
生活協同組合 食堂・売店	5号館1階・ 地下1階	—
医歯学研究支援センター	8号館北・南	5788

## 6. 校内案内図

